

## 一日ダンプトラック約600台分 ～浚渫船のスケールの大きさにビックリ！～

衣浦港では、発電用の石炭、ガラスの原料である珪砂、紙製品の元となる木材チップ等の貨物を扱っており、これに伴い多くの製造業が立地し、地域経済や市民生活の基盤を支えています。

こうした、物流機能の充実や船舶の大型化に対応するため、船舶が航行する航路の拡幅の事業を進めており、平成27年度の浚渫（海底の土砂を掘る）工事を行っています。

これに併せ、8月11日（火）に「半田市子ども会連絡協議会」の協力のもと、半田市内の小学生を対象とした「浚渫船見学会」を開催しました。

当日は小学生4名と大人2名が参加し、浚渫工事の概要の説明を受けた後、浚渫船の操船する運転席に座る体験や「グラブバケット」と呼ばれる装置で海底の土砂を掘る模擬操作する状況の見学をしました。

浚渫船で一回に掘れる量はダンプトラック10トンに換算すると約4台分、一日では約600台分の量になるとの説明に、参加した小学生達はビックリしていました。

最後に、参加者で「浚渫船見学会」の横断幕に海の生き物や船などの絵を描き、参加者全員で記念撮影を行いました。

参加した小学生からは『浚渫船を初めて見て、想像した以上に高くて、すごく大きかった』『運転席に座った時、とても高くて家の椅子と違った座り心地だった』等の感想が寄せられました。

当事務所では、港が果たす役割を地域の方々に理解して頂くため、こうした見学会を今後も開催して参ります。



浚渫船のスケールの大きさにビックリ！

### ■「見学会」の状況写真：別紙

（※写真データ等の提供を希望される方は「問い合わせ」先までご連絡下さい）

### ●配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、半田記者クラブ、碧南記者クラブ、  
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

### ●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 衣浦港事務所  
航路管理課 課長 伊藤（いとう）

Tel 0569-21-2311

Fax 0569-21-2312

## 別紙



船を操船する運転席に座り、「緊張気味」の小学生達



「すごく高いなあ！」操作室から見学する小学生達



横断幕に海の生き物や船などを描く小学生達



参加者全員で浚渫船の前で「記念撮影」